

安全データシート (SDS)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

| | |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 製品コード | 1-DP1-003 |
| 製品名 | ITEA ダニアレルゲン (Der p 1) 測定用構築型ELISAキット (HRP標識) A. 固相化用モノクローナル抗体 B. 標準液 (凍結乾燥) C. HRP標識モノクローナル抗体 |

会社情報

| | |
|-----------|---------------------------------|
| 会社名 | ITEA株式会社 東京環境アレルギー研究所 |
| 担当部署 | 品質保証課 |
| 住所 | 〒113-0001 東京都文京区白山1-33-18白山NTビル |
| 電話番号 | 03-3526-2031 |
| Fax番号 | 03-3526-2032 |
| 電子メールアドレス | reag-info@itea.jp |
| 緊急連絡電話番号 | 03-3526-2031 |

推奨用途及び使用上の制限

| | |
|--------|------------------|
| 推奨用途 | 研究用試薬 |
| 使用上の制限 | 推奨用途以外への使用は禁止する。 |

2 危険有害性の要約

GHS分類

| | |
|-------------------|----------|
| 物理化学的危険性 | 分類できない |
| 健康に対する有害性 | |
| A. 固相化用モノクローナル抗体 | 区分に該当しない |
| B. 標準液 (凍結乾燥) | 分類できない |
| C. HRP標識モノクローナル抗体 | 区分に該当しない |
| 環境に対する有害性 | 分類できない |

GHSラベル要素

| | |
|-------------------|-------|
| A. 固相化用モノクローナル抗体 | |
| B. 標準液 (凍結乾燥) | |
| C. HRP標識モノクローナル抗体 | |
| 絵表示 | なし |
| 注意喚起語 | なし |
| 危険有害性情報 | 該当しない |
| 注意書き | 該当しない |

他の危険有害性 情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

| | |
|------------------|------|
| A. 固相化用モノクローナル抗体 | 情報なし |
|------------------|------|

- B. 標準液（凍結乾燥） 情報なし
- C. HRP標識モノクローナル抗体 情報なし

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

A. 固相化用モノクローナル抗体

| 化学名又は一般名 | CAS番号 | 官報公示 整理番号 | 濃度又は 濃度範囲 (wt%) |
|----------------|-----------|--------------|--------------------|
| グリセロール (グリセリン) | 56-81-5 | 2-242 | 40 ≤, < 60 |
| 塩化水素 | 7647-01-0 | 1-215 | ≤ 0.09 |

C. HRP標識モノクローナル抗体

| 化学名又は一般名 | CAS番号 | 官報公示 整理番号 | 濃度又は 濃度範囲 (wt%) |
|----------------|-----------|--------------|--------------------|
| グリセロール (グリセリン) | 56-81-5 | 2-242 | 40 ≤, < 60 |
| 塩化水素 | 7647-01-0 | 1-215 | ≤ 0.26 |

以下の構成物は、毒物及び劇物取締法、安衛法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当する危険有害成分を含まない。

B. 標準液（凍結乾燥）

特記事項

グリセロールは、濃度が90%未満であるため危険物には該当しない。

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

- 吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 大量の水で洗うこと。異常が生じた場合には、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合 水で15～20分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

予想される急性症状

- A. 固相化用モノクローナル抗体 情報なし
- C. HRP標識モノクローナル抗体 情報なし

- B. 標準液（凍結乾燥） 本製品に接触したり吸入した場合、眼、皮膚や気道に刺激性を生じたりアレルギー反応を生じる可能性がある。

遅発性症状の最も重要な徴候症状

| | |
|-------------------|------|
| A. 固相化用モノクローナル抗体 | 情報なし |
| B. 標準液（凍結乾燥） | 情報なし |
| C. HRP標識モノクローナル抗体 | 情報なし |

応急措置をする者の保護

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項

情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤

周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤

消火剤の制限なし。

特有の危険有害性

| | |
|-------------------|------|
| A. 固相化用モノクローナル抗体 | 情報なし |
| B. 標準液（凍結乾燥） | 情報なし |
| C. HRP標識モノクローナル抗体 | 情報なし |

特有の消火方法

消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具（「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

| | |
|-------------------|------------------------|
| A. 固相化用モノクローナル抗体 | |
| C. HRP標識モノクローナル抗体 | 液体吸収剤等に吸収させて、空容器に回収する。 |

| | |
|--------------|-------------------------------------------------------|
| B. 標準液（凍結乾燥） | 飛散した物を掃き集めるか、真空掃除機で吸引する等できるだけ飛散発じんしないようにして、空容器等に回収する。 |
|--------------|-------------------------------------------------------|

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- A. 固相化用モノクローナル抗体
- B. 標準液（凍結乾燥）
- C. HRP標識モノクローナル抗体

技術的対策

安全取扱注意事項

接触回避

衛生対策

「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

B. 標準液（凍結乾燥）は、粉じんを発生させないようにする。

直射日光、高温多湿を避ける。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策

2～8℃を維持できるバイオメディカルクーラーで保管する。

混触禁止物質

A. 固相化用モノクローナル抗体

情報なし

B. 標準液（凍結乾燥）

情報なし

C. HRP標識モノクローナル抗体

情報なし

保管条件

直射日光を避け、冷暗所に保管する。

容器包装材料

A. 固相化用モノクローナル抗体

ポリプロピレン

B. 標準液（凍結乾燥）

ポリプロピレン

C. HRP標識モノクローナル抗体

ポリプロピレン

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

A. 固相化用モノクローナル抗体

C. HRP標識モノクローナル抗体

塩化水素

ACGIH TLV

2 ppm (最大値)

日本産業衛生学会 (2017)

2 ppm (最大値)

3.0 mg/m³ (最大値)

B. 標準液（凍結乾燥）

ACGIH TLV-TWA (2018)

3 mg/m³ (その他の不溶性のレスピラブル粒子)

10 mg/m³ (その他の不溶性のインハラブル粒子)

ACGIH TLV-STEL (2018)

設定されていない

日本産業衛生学会 (2017)

2 mg/m³

(第3種粉塵 (その他の無機および有機粉塵)、吸入性粉塵)

8 mg/m³

(第3種粉塵 (その他の無機および有機粉塵)、総粉塵)

※ 本項目は感受性そのものに対する許容濃度ではない。

設備対策

粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。
高温下やミストが発生する場合は換気装置を使用する。

保護具

| | |
|------------|-----------------|
| 呼吸用保護具 | 保護マスクを着用する。 |
| 手の保護具 | ゴム手袋を着用する。 |
| 眼の保護具 | 保護眼鏡を着用する。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 必要に応じて保護衣を着用する。 |

9 物理的及び化学的性質

外観（物理化学的状態、形状、色など）

| | |
|-------------------|--------|
| A. 固相化用モノクローナル抗体 | 無色透明液体 |
| B. 標準液（凍結乾燥） | 白色粉末 |
| C. HRP標識モノクローナル抗体 | 無色透明液体 |

臭い

情報なし

臭いの閾値

情報なし

pH

| | |
|-------------------|------------------|
| A. 固相化用モノクローナル抗体 | 情報なし |
| B. 標準液（凍結乾燥） | 7.2～7.6（精製水で溶解後） |
| C. HRP標識モノクローナル抗体 | 情報なし |

融点・凝固点

情報なし

沸点、初留点及び沸騰範囲

情報なし

引火点

情報なし

蒸発速度

情報なし

燃焼性

情報なし

燃焼範囲の上限・下限

情報なし

蒸気圧

情報なし

蒸気密度

情報なし

比重

情報なし

溶解度

いずれも水に混和する。
B. 標準液（凍結乾燥）は、濁りを生じることがある。

n-オクタノール／水分配係数

情報なし

自然発火温度

情報なし

分解温度

情報なし

粘度

情報なし

10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

通常の手扱い条件下では安定である。

危険有害反応可能性

通常の手扱い条件下では危険有害反応を起こさない。

避けるべき条件

直射日光、高温多湿

混触危険物質

| | |
|-------------------|------|
| A. 固相化用モノクローナル抗体 | 情報なし |
| B. 標準液（凍結乾燥） | 情報なし |
| C. HRP標識モノクローナル抗体 | 情報なし |

危険有害な分解生成物

| | |
|------------------|------|
| A. 固相化用モノクローナル抗体 | 情報なし |
|------------------|------|

| | |
|-------------------|------|
| B. 標準液（凍結乾燥） | 情報なし |
| C. HRP標識モノクローナル抗体 | 情報なし |

11 有害性情報

製品の有害性情報 情報なし

成分の有害性情報

- A. 固相化用モノクローナル抗体
C. HRP標識モノクローナル抗体

塩化水素

| | |
|----------|--------------------------------------------|
| 急性毒性（経口） | ラットLD ₅₀ = 238 - 277 mg/kg |
| 急性毒性（経皮） | ウサギLD ₅₀ >5010 mg/kg （区分に該当しない） |
| 急性毒性（吸入） | ラットLC ₅₀ = 1411 ppm |
| 発がん性 | IARC Group3：ヒトに対する発がん性について分類できない |

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

| | |
|-----------|------|
| 生態毒性 | 情報なし |
| 残留性・分解性 | 情報なし |
| 生体蓄積性 | 情報なし |
| 土壤中の移動性 | 情報なし |
| オゾン層への有害性 | 情報なし |

成分の環境影響情報

- A. 固相化用モノクローナル抗体
C. HRP標識モノクローナル抗体

塩化水素

| | |
|-----------|----------------------------------------------|
| 水生環境急性有害性 | 甲殻類（オオミジンコ）48時間EC ₅₀ = 0.492 mg/L |
| 水生環境慢性有害性 | 情報なし |
| 残留性・分解性 | 情報なし |
| 生体蓄積性 | 情報なし |
| 土壤中の移動性 | 情報なし |
| オゾン層への有害性 | 情報なし |

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

- A. 固相化用モノクローナル抗体
B. 標準液（凍結乾燥）
C. HRP標識モノクローナル抗体

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した上、リサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RIDの規定に従う）

| | |
|-------|-------|
| 国連番号 | 該当しない |
| 品名 | 該当しない |
| 国連分類 | 該当しない |
| 副次危険性 | 該当しない |
| 容器等級 | 該当しない |

海上輸送（IMOの規定に従う）

| | |
|--------|-------|
| 国連番号 | 該当しない |
| 品名 | 該当しない |
| 国連分類 | 該当しない |
| 副次危険性 | 該当しない |
| 容器等級 | 該当しない |
| 海洋汚染物質 | 該当しない |
| IBCコード | 該当しない |

航空輸送（ICAO/IATAの規定に従う）

| | |
|-------|-------|
| 国連番号 | 該当しない |
| 品名 | 該当しない |
| 国連分類 | 該当しない |
| 副次危険性 | 該当しない |
| 容器等級 | 該当しない |

国内規制

| | |
|--------|-------------|
| 陸上規制情報 | 該当しない |
| 海上規制情報 | 該当しない |
| 海洋汚染物質 | 海洋汚染防止法に従う。 |
| 航空規制情報 | 該当しない |

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

該当なし

特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

A. 固相化用モノクローナル抗体

| | |
|---------------------------|-----------|
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない |
| 労働安全衛生法 | |
| 名称等を通知すべき危険物及び有害物 | 該当しない |
| 名称等を表示すべき危険物及び有害物 | 該当しない |
| 化学物質排出把握管理促進法 | 該当しない |
| 海洋汚染防止法 | |
| 有害液体物質（Z類物質） （施行令別表第1） | 塩酸、グリセロール |

C. HRP標識モノクローナル抗体

| | |
|---------------------------|-----------|
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない |
| 労働安全衛生法 | |
| 名称等を通知すべき危険物及び有害物 | 塩酸 |
| 名称等を表示すべき危険物及び有害物 | 塩酸 |
| 化学物質排出把握管理促進法 | 該当しない |
| 海洋汚染防止法 | |
| 有害液体物質（Z類物質） （施行令別表第1） | 塩酸、グリセロール |

B. 標準液（凍結乾燥）

| | |
|-------------------|-------|
| 毒物及び劇物取締法 | 該当しない |
| 労働安全衛生法 | |
| 名称等を通知すべき危険物及び有害物 | 該当しない |
| 名称等を表示すべき危険物及び有害物 | 該当しない |
| 化学物質排出把握管理促進法 | 該当しない |

16 その他の情報

参考文献

ITEA株式会社 東京環境アレルギー研究所保有資料
NITE GHS分類結果一覧（2018）
日本産業衛生学会（2017）許容濃度等の勧告
ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2018) TLVs and BEIs.

【注意】

本SDSは、JIS Z 7253:2019に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本SDSの記載内容については、新しい知見等があった場合には適宜改訂を行います。また、注意事項等は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。